

青森保健生活協同組合

ノーリフティングケアの取り組み

青森保健生活協同組合
ヘルスサポートやすかた
石塚 理仁

1

青森保健生活協同組合の概要

- ショートステイやすかた
- テイサービスセンターやすかた
- 居宅介護支援事業所つつみ

- 中部クリニック
- テイサービス中部

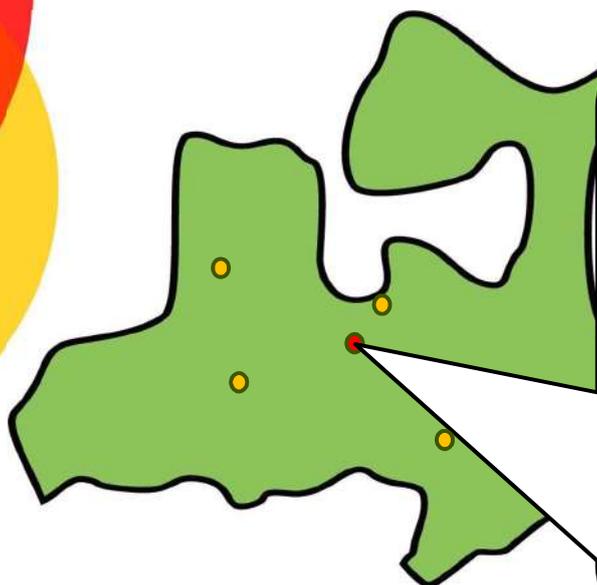
- あおもり協立病院
- 協立クリニック
- あおもり協立病院訪問リハビリ
- 協立病院デイケア
- 協立クリニックデイケア ふきのとう
- おおの地域包括支援センター
- 協立クリニック居宅介護支援事業所
- 小規模多機能型居宅介護支援事業所おおの
- ◆ 住宅型有料老人ホーム なのほな

- 生協さくら病院
- 協立訪問看護ステーション本所
- 協立訪問看護ステーションさくら支所
- 看護小規模多機能型居宅介護支援事業所 ひまわり
- 生協ヘルパーステーションさくら
- 生協ヘルパーステーションやすらぎ
- 居宅介護支援事業所ケアネット中部
- ◆ サービス付き高齢者向け住宅さくら
- ◆ 精神障がい者共同住宅ピアコーポすずらん

2

令和2年度

あおもりノーリフティング推進事業



《第2期モデル施設》

看護小規模多機能型居宅介護事業所
ひまわり

職員数: 15名
利用者数: 28名
平均介護度: 2.64

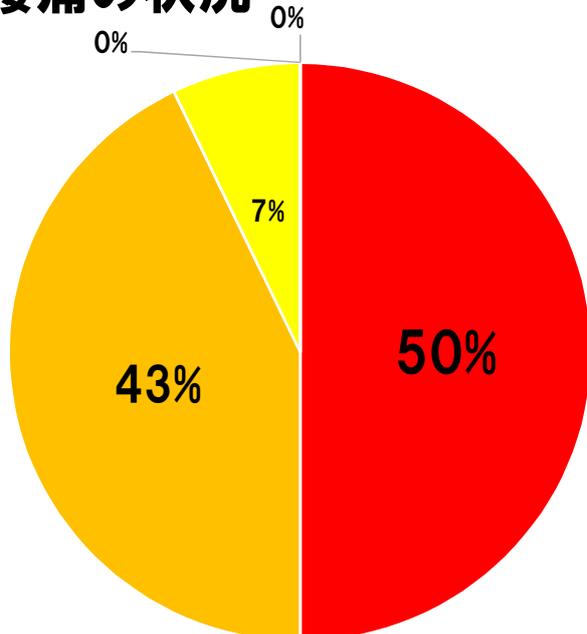
他法人は
老健や特養が中心



3

腰痛調査(取り組み前)

腰痛の状況



- 常に痛いまたはよく痛みが出る
- 今は痛くないが痛くなる時がある
- 痛みまで感じないが、腰が疲れやすい
- 痛みがあったが、1カ月以上痛みがない
- 痛みが出たことがない

腰痛保持者が9割!?



4

体制の構築

- **体制を構築して**研修に参加するよう話があった
- 介護部を中心にプロジェクト(以下、PJ)チームを結成
→ **現場での取り組みが中心**のため、追加招集
- 取り組み事業所内で下記の体制を構築

役割	担当	事業所職員《追加招集》
統括	介護部長	
健康管理	看多機所長	
教育	デイサービス所長	看多機 主任・職員
アセスメント・プランニング	介護部次長	看多機 職員(ケアマネ)
福祉用具	病院セラピスト	看多機 職員

5

教育

- 教育担当者で福祉用具の操作方法や技術を習得
- PJチームの教育担当者が中心となり、看多機職員へ教育を実施

現在

- 推進したい事業所からは、教育担当者を選出してもらい、教育担当者向けに教育を実施
- 教育担当者は自ら実践し、習得する
→ 自事業所の職員へ教育研修とOJT
OJTで実践と教育をしながら、習熟を図る

6

	教育内容	教育方法
STEP 1	ノーリフティングケアの必要性和目的の理解	年1回、継続教育として全職員に実施する。講義後、理解度テスト実施し、正解率100%で理解とみなす。 教育を研修で実施。実施後にテストを行い、習得状況を確認する。現場の教育担当者がOJTで実施状況や習得状況を確認する。
STEP 2	①専門職としての意識・態度 ②身体の使い方	
STEP 3	リスクマネジメント	
STEP 4	①寝返り ②起き上がり ③立ち上がり ④座り直し	
STEP 5	①スライディングシート （横・上方移動、寝返り、敷き込み、抜き取り） ②スライディンググローブ（横移動） ③スライディングボード ④リフト（車椅子⇄ベッド） ⑤スタンディングリフト	

7

リスクマネジメント

- ◆ ひやいはっと報告を「グレートジョブ報告書」に統一
⇒5W1Hに沿って書きやすい様式に！
- ◆ 委員による事業所巡回、困難事例の検討
- ◆ 収集方法は事業所に一任



介護安全取り組み
グレートジョブ！報告書
ゼロレベル 報告ありがとうございます！

1件の重大な事故・災害
29 29件の軽微な事故・災害
300 300件のヒヤリ・ハット
(ハイソケットの活用)

①利用者に実害なし 未然に防げたもの
②太線で囲んだ部分に簡潔に明記する

報告日	2023 年 月 日	報告者氏名	
利用者名			
発見者	介護職員 ケアマネ 事務 利用者 家族 他事業所職員 その他 ()		
内容			
いつ	2023 年 月 日	時 分	機
どこで			
誰が(と)			
何を			
どうした			

どうおぼえたい？ どうおぼえたい？

ダイヤサービス

8

アセスメント・プランニング

《担当》生活相談員やサービス提供責任者など

- ①アセスメント ADLの把握
- ↓
- ②チェック 現行のケアからノーリフティングケアへ
- ↓
- ③プラン立案 説明と同意・プランの周知徹底
- ↓
- ⑤実施 利用者の様子、職員・利用者の負担

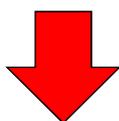
アセスメントシート		担当者	記入日	2024/6/20	
氏名		生年月日	1958/5/18	年齢	67歳
介護度	要介護 1	日東生活福祉会		認知症自立度	
病名				身長	165cm
現住居				体重	65kg
療育・訓練の実況					
項目	介護度	本人の身体機能	現状のケア	実施したいケア	
ベッド上の動作 (移動・転位)					
起き上がり	見守り				
立ち上がり					
座位保持					
立位保持					
歩行					
排泄					
トイレ動作					
認知	自立				
その他					
目標					
工夫					

職員の腰痛予防が一番の目的であり、利用者にもメリット（二次障害の予防）がある利用頻度の多い物は購入計画を立てる

11

福祉用具

- ・福祉用具管理一覧表を作成（購入年月日、使用状況、保管場所等）
- ・アセスメント担当者と共に必要な福祉用具の洗い出し、購入計画をたてていく
- ・当初は電動ベッドもまぼら、車いすも跳ね上げできるものはなかった



- ・幸いにも在宅系のため、福祉用具を貸与
- ・電動ベッド・リフト・スタンディングリフト等の購入計画をたてていく

まずは車いすから変更しましょう。

お風呂ではフレックスボードの方が活用しやすいんじゃない？



スライディングボードを活用した方が良い利用者が多いようです！

12



フレックスボード



スライディングシート



スライディングボード



スタンディングリフト

床走行式リフト

13

始業時と終業時 《体操》



14

勤務の合間に

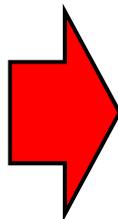


利用者と一緒に体操

15

環境の整備

Before



After



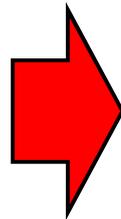
16

ハード面の改修

Before



- ① 間口が狭くリフトが入らない
- ② 手すりが邪魔



After

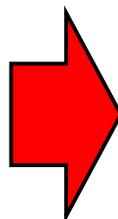


- ① 扉を改修し、間口が広く
- ② 手すりと便器を撤去

17

身体の使い方

Before



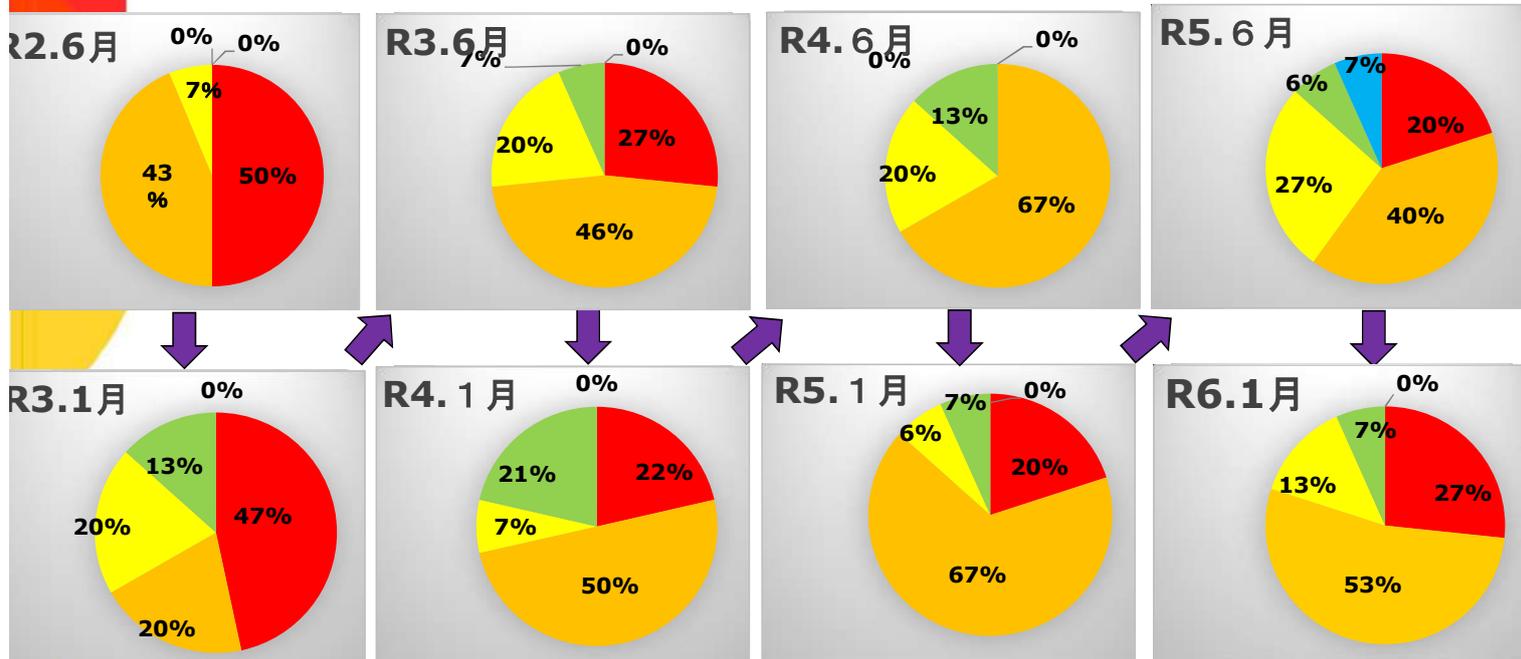
After



18

効果・成果

常に痛い、または常に痛みがある
今は痛くないが痛くなる時がある
痛みまではないが腰が疲れやすい
痛みがあったが1カ月以上痛みがない 現在は良くなった
痛みがでたことがない



19

労働安全衛生の水準を高めるために

- 新・腰痛予防指針より

「人力での抱え上げは、**原則**行わせない。

リフトなど福祉機器の活用を促す」

→管理体制が問われている

単に福祉機器を活用することが目的ではない

身体に辛い・キツイと思うことを抽出し、対策を講じていく

「安全性が高まり、

働きやすい職場づくりへつながる」

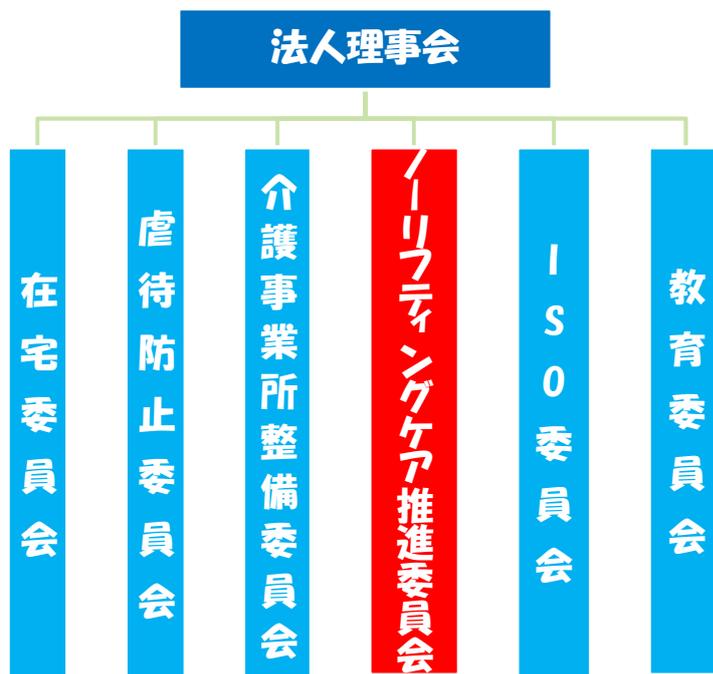
20

委員会体制と位置づけ

- ・ノーリフティングケア推進委員会が設置
- ・各事業所（病院含む）から委員を選出
- ・毎月1回定例会議

目的

- ・ノーリフティングケアの普及
- ・教育担当者の育成
- ・推進事業所の進捗確認
- ・マニュアル作成
- ・困難事例等の共有
- ・事業所巡回点検 …等



21

わたしたちは

「持ち上げない」「抱え上げない」「ひきずらない」

ケアに取り組めます！

青森保健生活協同組合

**ノーリフティング
ケア宣言**

リフトを活用する
福祉機器を活用する
しっかりしゃがむ
台車を利用する

◇腰痛の原因となる作業や環境を見直します！
◇誰もが働きやすい職場づくりに取り組みます！

ノーリフティングケアは、身体の使い方を見直し、福祉用具・機器の活用をすることで、職員の腰痛予防と患者・利用者の二次障害（拘縮・床ずれ）予防に効果のある双方にメリットのあるケアです。

ノーリフティングケアは
取り組むための
体制づくりが重要です！
トップから旗振りを

22



ご清聴
ありがとうございました